



日本国憲法第9条
「戦争の放棄」

「社会保障の解体は許さない！介護保険制度の抜本改善を！！」

STOP！介護改悪 介護ウェーブ2015推進ニュース

-介護の“Big Wave”を広げよう！-

各地の介護ウェーブ

神奈川 総合事業について横浜市介護保険課等と懇談する！

神奈川民医連横浜協議会では、5月18日(月)に横浜市介護保険課等と懇談を行いました。当日は、横浜市内の法人や事業所から17名の職員が参加しました。

まず初めに横浜市から「第6期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の概要を説明してもらいました。ひきつづき、事前に提出していた10項目に及ぶ質問にもとづき、回答をいただき意見交換をしました。

2016年1月から移行する総合事業について質問や意見が多く出されました。「検討中」と明確な答えがいただけなかったものの、移行当初は既存のサービスと同等の現行サービス(みなし指定)から開始予定であること、

単価については包括単位ではなく、1回あたりの単位設定を検討中であること、チェックリストの活用は、一部の地域包括支援センターで試行実施のち、順次広げていく方向であること、ただし、認定申請の意志を示された場合は、チェックリストを活用するものではないことなどを確認しました。それ以外の多様なサービスについては訪問型サービスCを現在、区役所職員が行っている訪問を移行する予定であることを確認しました。横浜市は、ほとんど検討中と答えるのみで、移行までの実施スケジュールも明らかにしませんでした。

(文責：片倉博美)



5・13 国会行動&介護ウェーブを行いました！

5月13日のこの日は、おりしも医療保険制度改革関連法案が参議院本会議にかけられようとしていた日で、たいへん重要な1日でした。はじめに、保団連の住江会長から「政府は若い人を戦争にかり出して死んでもらおうとしている。戦争法案と社会保障を一体で改悪しようとしている。国民が馬鹿にされています。これに対抗するには国会に連日おしかけるくらいたたかいが必要です！」と力のこもったごあいさつをいただきました。(多くの国民の怒りの中、医療保険制度改革関連法案5月27日に本会議で強行採決されてしまいました。)



署名はこの日、2089筆を提出し、**184474筆**(5月13日現在)になりました。

参加者は社保協と合わせて43名で、民医連からの参加者は少なめでしたが、元気に議員要請行動に行ってきました！



←福岡千一ム。要請行動の準備中にお邪魔いたしました！



←奈良健生会の事務さんと
介護福祉士さんです。



宮崎・京都の混合チーム→



←山梨の訪問看護師さんと県連の
みなさんチーム



静岡のケアマネさんは「議員要請は初
めてじゃないので」とお一人で行かれ
ました！すごいです！ →

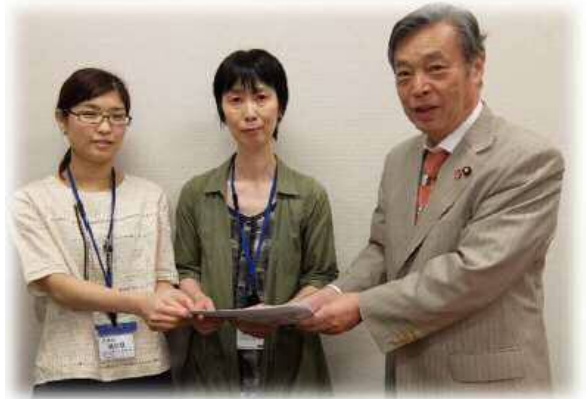


京都からの感想です (京都民医連介護ウェーブ2015NEWS NO.3 より)

今回初めて、国会議員要請行動に参加しました。宮崎民医連から参加された方と一緒に、宮崎県選出議員2名（自民党）と京都府選出議員4名（民主党、共産党）をまわりました。ちょうど参議院本会議中だったため、秘書さんが対応されたところが多かったのですが、お忙しい中、議員本人にもお話を聞いていただけました。国会では「医療保険制度改革関連法案」が今まさに審議中で、全日本民医連が調査した「経済的事由による手遅れ死亡事例調査概要報告書」を手渡して、「国保料が高すぎて払えず無保険になり、医療にかかれない実態」を訴えました。

介護保険では4月の法改正で基本報酬の大幅なマイナス改定が実施され、加算を算定しても減収となり、このままでは介護事業がつぶれかねないほど深刻な影響を受けています。

たとえ介護職員処遇改善加算が拡充されても、事業所の経営自体が成り立たなければ、介護職員の賃金や労働条件を改善することはできません。介護職の離職、募集しても人材が集まらない厳しい状況を訴えました。また利用者にとっても8月からの2割負担の実施や、施設利用時の食費と居住費の補正給付での資産調査などにより、自己負担が増えます。サービス利用を減らさざるを得ない人も出てくるかもしれません。そのために身体機能が低下したり、それまでの生活を維持できなくなることが危惧されます。利用者・家族が安心して介護を受けられ、介護従事者がいきいきと働き続けられるよう、介護保険制度の改善と処遇改善、人材確保の実現のため、早期の介護保険法の見直し、再改定を要望してきました。



短い時間で緊張してうまく説明できなかったのですが、議員に直接声を届けることができたことは貴重な経験になりました。これから自治体レベルでも「地域支援事業」の具体化など、介護保険は大きな転換期を迎えるので、もっと現場から発信していきたいと思えます。（ケアプランセンター飛鳥井 玉井弓子）

7月13日(月)~19日(日)

日本全国で何かが起こる...

Coming soon!!

介護アクションウィーク

お問い合わせは、

「介護ウェーブ推進本部」 事務局：吉澤・諏佐（すさ）

☎03-5842-6451 / fax 03-5842-6460

E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp